

注3

大学番号：私014

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

岩手医科大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人岩手医科大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 矢巾キャンパス教務課

職名・氏名 課長 ササキ ヒロト 佐々木 寛人

電話番号 019-651-5110（内線5505）

（夜間） 019-651-5111（代表）

F A X 019-698-1826

e-mail kangokyomu@j.iwate-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人岩手医科大学

(2) 大学名

岩手医科大学

(3) 大学の位置

〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ アキラ) 小川 彰 (平成24年2月)		
学長	(ソブエ ケンジ) 祖父江 憲治 (平成28年4月)		
学部長	(シマモリ ヨシコ) 嶋森 好子 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	90人	3年次 5人	370人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	90人 () []	人 () []	1.05 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	308 () []	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	290 () []	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	142 () []	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	95 () []	() []		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	95 [—] (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	95 [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	— 人	— 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	— 人	— 人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	95 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	95 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
IPE関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2									兼 25 20 教育内容の充実のため、兼任教員5名追加(29) 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員1名変更(29)
	チーム医療リテラシー	3前	1			3						兼 15
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1					兼 20 21 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員減員(29)
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1									兼 1
	基礎自然科学	1前	1				1					
	情報科学	1前	2									兼 1
	健康運動科学	1前	2									兼 4
	社会福祉	1前	1									兼 1
	心理学	1前	1									兼 1
	医療面接の基礎	1後	1									兼 2
	生命倫理学	1後	1									兼 1
	English Speaking & Listening	1後	1									兼 4 兼任教員就任辞退により、担当教員2名変更(29)
	English Reading & Writing	1通	3									兼 3
	医療英語	2前	1									兼 2
	ベーシック生物	1前		1								兼 3 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員1名変更(29)
	スタンダード生物	1前		1								兼 3 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員1名変更(29)
	アドバンスト生物	1前		1								兼 9 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員1名変更(29)
	自然・文化人類学	1前		1								兼 6 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員1名変更(29) 授業運営上の都合により、松政正俊(兼担)・松前もゆる(兼任)の共同担当分を松前もゆるの単独担当に変更(29)
	ベーシック化学	1前		1								兼 1
	ベーシック物理	1前		1								兼 3
	解析学入門	1前		1								兼 1
	医療とスポーツ	1前		1								兼 5
文学の世界	1前		1								兼 1	
道徳のしくみ	1前		1								兼 1	
ベーシック数学	1前		1								兼 2	
アドバンスト化学	1前		1								兼 1	
医療とコミュニケーション	1前		1								兼 4	
実践英語	1前		1								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目群	教養教育科目	医療と福祉	1前		1		1	1	1			兼 9
		科学英語	1後		1							兼 1 兼任教員就任辞退により、担当教員1名変更 (29)
		英語学	1後		1							兼 1
		医療と物語	1後		1							兼 5 教育効果を考慮し、兼任教員の共同担当分を各3回から各1回に変更し、平林香織(兼任)の単独担当分を2回から10回に変更 (29)
		人間関係論	1後		1							兼 2
		パーソナリティ心理学	1後		1							兼 1
		哲学の世界	1後		1							兼 1
		医療と法律	1後		1							兼 1
看護専門基礎科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1					
		生化学	1後	2				1				
		感染免疫学	1後	2					1			
		基礎解剖学	1通	2								兼 1
		基礎生理学	1通	2								兼 1
		病理学概論	1後	1								兼 1
		薬理学	2前	2				1	1			
		臨床心理学	2前	1								兼 1
		疾病論Ⅰ	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ	2前	2								兼 8
		疾病論Ⅲ	2後	2								兼 8 兼任教員退職に伴う就任辞退により、担当教員減員 (29)
		疾病論Ⅳ	2後	2								兼 5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1			兼 3
		公衆衛生学・疫学	3前	2								兼 1
		保健統計学	3前	2								兼 1
専門科目群	看護専門科目	基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2			
			看護倫理学	3前	1			1		1		
			基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5	
			基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5	
			基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5	
			基礎看護学Ⅳ	1後	2			1				
			基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5	
	成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1					1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1		2	1	
	看護専門科目	老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1			
			老年看護方法論	2後	2				1			
			老年看護学演習	3前	1				1		1	1
小児看護学		小児看護学概論	2前	1				1				
		小児看護方法論	2後	2				1		1		
		小児看護学演習	3前	1				1		1	1	
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1				1			
母性看護方法論	2後		2				1		2			
母性看護学演習	3前		1				1		2	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
		精神看護学方法論	2後	2			1		2			
		精神看護学演習	3前	1			1		2			
	在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
		地域看護学Ⅱ	3前	2			1					
		地域看護学方法論	3前	1			1		1			
		地域看護学展開論	3前	1			1		1	1		留意事項への対応に伴う科目区分名称の変更(29)
		在宅看護学概論	2前	1			1					
		在宅看護学方法論	2後	2					1	1		
		在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1	
	看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					兼 1
		国際看護学	2前	1			1			1		
		看護研究入門	2前	1			1					
		医療安全論	2後	1			1					
		緩和ケア論	2後	1								兼 1
		看護政策論	4前	1			1					
		看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			7	3	9	2			
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1 2			3	1	4	5	2	留意事項への対応に伴う単位数の変更(29)
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2 4			1	1	2	7	1	留意事項への対応に伴う単位数の変更(29) 留意事項への対応に伴い担当教員3名を追加予定(専任教員採用等設置計画変更書 平成29年6月提出予定)(29)
		成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
		成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
		老年看護学実習	3後~4前	4				1		1	1	
		小児看護学実習	3後~4前	2			1		1		1	
		母性看護学実習	3後~4前	2			1		2	1	1	
		精神看護学実習	3後~4前	2			1		2			
		在宅看護学実習	3後~4前	2			1		2	2	1	
		統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5	
	発展科目	医療情報論	3・4前		1							兼 1
		先端医療論	3・4前		1							兼 7
災害医療論		3・4前		1							兼 1	
家族ケア論		4前		1		1						
看護教育論		4前		1							兼 1	
メンタルヘルスケア論		4前		1		1						
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1						
	公衆衛生看護学方法論	3後		2		1		3	2	1	兼 2	
	公衆衛生看護学展開論	3後		2		1		2	2	1	兼 1	
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前		2		1		2	2	1		
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前		1		1						
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1		
	日本国憲法	2後		2							兼 1	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1						
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1				
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1				
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2				
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1		
	助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1		2				
	地域母子保健	4後		1		1		2				
	助産管理学	4後		1		1						
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1			
	助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1		
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
78	45	1	124	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{124} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	矢巾キャンパス総合移転整備事業用地開発行為同意の条件のとおり、町道の拡幅工事に係る道路用地を矢巾町へ帰属 (29)		
	校舎敷地	390,917.78 m ² 399,834.21 m ²	0 m ²	0 m ²	390,917.78 m ² 399,834.21 m ²			
	運動場用地	92,313.78 m ²	0 m ²	0 m ²	92,313.78 m ²			
	小 計	483,231.56 m ² 492,147.99 m ²	0 m ²	0 m ²	483,231.56 m ² 492,147.99 m ²			
	そ の 他	53,845.45 m ²	0 m ²	0 m ²	53,845.45 m ²			
	合 計	537,077.01 m ² 545,993.44 m ²	0 m ²	0 m ²	537,077.01 m ² 545,993.44 m ²			
(2) 校 舎	専 用	118,532.62 m ² (118,532.62 m ²)	共 用 (0 m ²)	共用する他の学校等の専用 (0 m ²)	計 (118,532.62 m ²)			
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
(3) 教 室 等	28 室	74 室	33 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		一部共同部屋		
	看護学部 看護学科			23 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	看護学部	2,556 [241] (1,256 [101])	105 [14] (105 [14])	73 [13] (73 [13])	54 (14)	5,128 (3,213)	15 (8)	
	計	2,556 [241] (1,256 [101])	105 [14] (105 [14])	73 [13] (73 [13])	54 (14)	5,128 (3,213)	15 (8)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 閲覧席の増加 (29)	
	5,112.38 m ²		459 457		277,972			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	5,513.56 m ²		野球場2面、サッカー・ラグビー場2面、テニスコート12面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	282千円	282千円	図書購入費	13,894千円	11,127千円	14,109千円
		共 同 研 究 費 等	10,848千円	10,848千円	設備購入費	123,833千円	67,715千円	1,000千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,650 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、研究助成金および補助金、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	岩手医科大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 員 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》 看護学部 看護学科	4	90	3年次 5	370	学士 (看護学)	1.05	平成29年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	歯学部募集定員57名(定員超過率0.88倍)
医学部 医学科	6	123	3年次 7	768	学士 (医学)	0.99	昭和23年度	岩手県盛岡市内丸19-1	
歯学部 歯学科	6	73	-	440	学士 (歯学)	0.68	昭和40年度	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学部 薬学科	6	160	-	960	学士 (薬学)	0.95	平成19年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
大学 の 名 称	岩手医科大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 員 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医学研究科 生理系専攻	4	6	-	24	博士 (医学)	0.16	昭和35年度	岩手県盛岡市内丸19-1	
病理系専攻	4	3	-	12	博士 (医学)	0.41	昭和35年度	同上	
社会医学系専攻	4	2	-	8	博士 (医学)	4.75	昭和35年度	同上	
内科系専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	0.67	昭和35年度	同上	
外科系専攻	4	19	-	76	博士 (医学)	0.56	昭和35年度	同上	
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.55	平成16年度	同上	
歯学研究科 歯学専攻	4	18	-	72	博士 (歯学)	0.31	昭和58年度	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学研究科 医療薬学専攻	4	3	-	12	博士 (薬学)	1.16	平成25年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
薬科学専攻	2	3	-	6	修士 (薬科学)	0.00	平成25年度	同上	
大学 の 名 称	岩手看護短期大学								
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 員 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
看護学科	3	-	-	-	短期大学士 (看護学)	-	平成2年度	岩手県滝沢市大釜千が窪14番地1	平成29年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	嶋森 好子	平成29年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習						
専	教授	三浦 まゆみ	平成29年4月	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習						
専	教授	末安 民生	平成29年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習						
専	教授	野村 陽子	平成29年4月	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習						
専	教授	高橋 亮	平成29年4月	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習					4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	留意事項への対応に伴う担当科目の追加(平成29年6月変更書提出予定)(29)
専	教授	蛸崎 奈津子	平成29年4月	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護学方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習						
専	教授	遠藤 龍人	平成29年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	秋山 智弥	平成29年4月	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習						
専	准教授	相馬 一二三	平成30年4月	医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護学方法論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習						
兼任	講師	相馬 一二三	平成29年4月	医療と福祉 ※ 看護学概論 ※						
専	准教授	塚本 恭正	平成29年4月	基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※						
専	講師	三浦 幸枝	平成30年4月	医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習						
兼任	講師	三浦 幸枝	平成29年4月	医学・医療入門 ※						
専	講師	遠藤 太	平成29年4月	看護倫理学 ※ 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習					看護倫理学 ※ 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	留意事項への対応に伴う担当科目の追加(平成29年6月変更書提出予定)(29)
専	講師	柏木 ゆきえ	平成29年4月	基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習						
専	講師	三宅 美智	平成30年4月	精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習					精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	留意事項への対応に伴う担当科目の追加(平成29年6月変更書提出予定)(29)
専	講師	秋山 直美	平成29年4月	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習						
専	講師	大澤 扶佐子	平成32年4月	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習						
兼任	講師	大澤 扶佐子	平成31年4月	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※						
専	講師	最上 玲子	平成31年4月	医療と福祉 ※ 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 看護研究 ※ 小児看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護学方法論 ※ 看護研究実践演習						
兼任	講師	最上 玲子	平成29年4月	医療と福祉 ※ 小児看護学方法論 ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	遊田 由希子	平成29年4月	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習						
専	講師	西里 真澄	平成32年4月	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習						
兼任	講師	西里 真澄	平成30年4月	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 III ※						
専	講師	一ノ渡 学	平成29年4月	感染免疫学 薬理学 ※						
専	助教	横田 真理子	平成30年4月	成人看護方法論 I ※ 成人看護学演習 I ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 II 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習						
専	助教	小松 恵	平成29年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 成人看護学演習 II 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学急性期実習 統合看護実習						
専	助教	小林 由美子	平成29年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護実習						
専	助教	野里 同	平成29年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護実習						
専	助教	小坂 未来	平成29年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護実習						
専	助教	藤澤 純子	平成30年4月	成人看護学演習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習						
専	助教	佐藤 奈美枝	平成30年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 成人看護学演習 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学急性期実習 統合看護実習						
兼任	講師	佐藤 奈美枝	平成29年4月	基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学実習 I						
専	助教	吉岡 智大	平成31年4月	老年看護学演習 老年看護学実習 統合看護実習						
専	助教	藤原 弥生	平成31年4月	在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論 I 公衆衛生看護学実習						
兼任	講師	藤原 弥生	平成30年4月	在宅看護方法論 ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	松岡 真紀子	平成32年4月	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習						
兼任	講師	松岡 真紀子	平成31年4月	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※						
専	助教	高橋 淳美	平成32年4月	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ						
兼任	講師	高橋 淳美	平成31年4月	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習						
兼任	教授	寺山 靖夫	平成30年4月	疾病論Ⅳ ※						
兼任	講師	寺山 靖夫	平成31年4月	疾病論Ⅳ ※						
兼任	教授	佐々木 章	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※						
兼任	教授	小笠原 邦昭	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	教授	土井田 稔	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	教授	杉山 徹	平成29年4月	医学・医療入門 ※						
兼任	講師	杉山 徹	平成30年4月	医学・医療入門 ※						
兼任	教授	佐藤 宏昭	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	教授	黒坂 大次郎	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	教授	小原 航	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	教授	福島 明宗	平成30年4月	疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※						
兼任	教授	佐藤 孝	平成29年4月	病理学概論						
兼任	教授	坂田 清美	平成31年4月	公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※						
兼任	教授	佐藤 洋一	平成29年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※						
兼任	講師	佐藤 洋一	平成31年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※						
兼任	教授	櫻井 滋	平成29年4月	医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※						教育効果を考慮し、「医療と物語」の共同担当分を3回から1回に変更(29)
兼任	教授	志賀 清人	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	教授	有賀 久哲	平成31年4月	先端医療論 ※						
兼任	教授	出羽 厚二	平成29年4月	自然・文化人類学 ※						
兼任	教授	佐々木 真理	平成31年4月	先端医療論 ※						
兼任	教授	石垣 泰	平成31年4月	公衆衛生看護方法論 ※						
兼任	教授	伊藤 智範	平成29年4月	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※						
兼任	教授	眞瀬 智彦	平成29年4月	医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論						教育効果を考慮し、「医療と物語」の共同担当分を3回から1回に変更(29)
兼任	教授	大塚 耕太郎	平成30年4月	疾病論Ⅳ ※						
兼任	教授	原田 英光	平成31年4月	チーム医療リテラシー 先端医療論 ※						
兼任	教授	石崎 明	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	教授	八重柏 隆	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	教授	佐藤 和朗	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	教授	岸 光男	平成31年4月	チーム医療リテラシー						
兼任	教授	佐藤 健一	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	教授	駒野 宏人	平成29年4月	4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※						
兼任	教授	中西 真弓	平成29年4月	アドバンスト生物 ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	小澤 正吾	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	教授	那谷 耕司	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	教授	藤井 勲	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	教授	高橋 寛	平成31年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー						
兼担	教授	弘瀬 雅教	平成31年4月	チーム医療リテラシー						
兼担	教授	遠藤 寿一	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界						
兼担	教授	平林 香織	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※						教育効果を考慮し、「医療と物語」の単独担当分2回・共同担当分12回を単独担当分10回・共同担当分4回に変更(29)
兼担	教授	松政 正俊	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※						授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の共同担当分を10回から3回に変更(29)
兼担	教授	江尻 正一	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー 情報科学 ベーシック数学						
兼担	教授	佐藤 英一	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック物理 ※						
兼担	教授	中島 理	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック化学						
兼担	教授	ジェームズ・ホプス	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療英語						
兼担	准教授	吉岡 邦浩	平成31年4月	先端医療論 ※						
兼担	准教授	木村 祐輔	平成29年4月	チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論						教育効果を考慮し、「医療と物語」の共同担当分を3回から1回に変更(29)
兼担	准教授	高橋 和宏	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※			後任未定			平成29年1月退職に伴う就任辞退(後任補充予定)(29)
兼担	准教授	奈良場 博昭	平成29年4月	アドバンスト生物 ※		教授 准教授				平成29年4月昇任による職名変更(29)
兼担	准教授	木村 眞吾	平成29年4月	基礎生理学						
兼担	准教授	水野 大	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼担	准教授	肥田 圭介	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼担	准教授	遠藤 幹也	平成30年4月	疾病論Ⅳ ※						
兼担	准教授	田島 克巳	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	准教授	鈴木 啓二郎	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	准教授	平海 晴一	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼担	准教授	小山 理恵	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※						
兼担	准教授	久慈 昭慶	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	講師	久慈 昭慶	平成31年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼担	准教授	藤原 尚樹	平成29年4月	基礎解剖学						
兼担	准教授	相澤 文恵	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学						
兼任	講師	相澤 文恵	平成31年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学						
兼担	准教授	小山 薫	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※						
兼担	講師	田中 良一	平成31年4月	先端医療論 ※						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	秋山 有史	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼任	講師	岩谷 岳	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼任	講師	大塚 幸喜	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼任	講師	新田 浩幸	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※						
兼任	講師	西塚 哲	平成30年4月	疾病論Ⅱ ※		准教授 講師				平成28年11月 昇任による職名変更 (29)
兼任	講師	吉田 研二	平成30年4月	疾病論Ⅲ ※						
兼任	講師	高田 亮	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	講師	本多 孝之	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	講師	八木 淳子	平成29年4月	医療と福祉 ※						
兼任	講師	成田 欣弥	平成31年4月	チーム医療リテラシー						
兼任	講師	田村 晴希	平成31年4月	チーム医療リテラシー						
兼任	講師	帖佐 直幸	平成29年4月	アドバンスト生物 ※						
兼任	講師	西谷 直之	平成29年4月	4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※		准教授 講師				平成29年1月 昇任による職名変更 (29)
兼任	講師	松浦 誠	平成31年4月	チーム医療リテラシー		准教授 講師				平成29年1月 昇任による職名変更 (29)
兼任	講師	佐藤 淳也	平成31年4月	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー			後任未定			平成29年3月 退職に伴う就任辞退(後任 補充予定) (29)
兼任	講師	廣瀬 清英	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法						
兼任	講師	東尾 浩典	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学						
兼任	講師	三枝 聖	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※						
兼任	講師	小松 真	平成29年4月	多職種連携のためのアカ デミックリテラシー						
兼任	助教	相澤 純	平成32年4月	4学部合同セミナー						
兼任	助教	山本 佳世乃	平成29年4月	医療と物語 ※						教育効果を考慮し、共同担 当分を3回から1回に変更 (29)
兼任	助教	佐々木 亮平	平成29年4月	チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※						
兼任	助教	石河 太知	平成31年4月	チーム医療リテラシー						
兼任	助教	柳谷 千枝子	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語						
兼任	助教	藤澤 美穂	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学						
兼任	助教	蛭田(角井) 千鶴江	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※	兼任	助教	阿部 博和	平成29年4月	多職種連携のためのアカ デミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※	退職に伴う就任辞退のた め、担当教員を変更 (29)
兼任	助教	小田 泰行	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック物理 ※						
兼任	助教	寒河江 康朗	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック物理 ※						
兼任	講師	寒河江 康朗	平成32年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック物理 ※						
兼任	助教	吉田 潤	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミック リテラシー						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	大沼 仁美	平成29年4月	English Reading & Writing 英語学					多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 英語学	教育内容充実のため、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」を追加(29)
兼任	助教	長谷川 大	平成29年4月	解析学入門 ベーシック数学					多職種連携のためのアカデミックリテラシー 解析学入門 ベーシック数学	教育内容充実のため、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」を追加(29)
兼任	講師	工藤 裕子	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 科学英語					多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 科学英語	担当教員の都合により、「科学英語」の就任を辞退(29)
					兼任	助教	ジヨハン 曜 けい -小倉	平成29年4月	科学英語	担当教員の就任辞退により、「科学英語」を追加(29)
兼任	講師	ジヨハン 曜 けい -小倉	平成29年4月	English Speaking & Listening 医療英語	兼任	助教			多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Speaking & Listening 医療英語	助教任用に伴う職名変更(29) 教育内容充実のため、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」を追加(29)
兼任	講師	ケ アサノ	平成29年4月	English Speaking & Listening						
兼任	講師	サイモン タウンゼント	平成29年4月	English Speaking & Listening	兼任	講師	ダニエル ニューベリー	平成29年4月	English Speaking & Listening	担当教員の就任辞退のため、担当教員を変更(29)
兼任	講師	赤坂 キャサリン	平成29年4月	English Speaking & Listening	兼任	講師	ヘミッシュ スミス	平成29年4月	English Speaking & Listening	担当教員の就任辞退のため、担当教員を変更(29)
兼任	講師	小野 保	平成31年4月	医療情報論						
兼任	講師	工藤 真由美	平成32年4月	看護教育論						
兼任	講師	安達 登	平成29年4月	アドバンスト生物 ※						
兼任	講師	柄内 新	平成29年4月	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※						
兼任	講師	松前 もゆる	平成29年4月	自然・文化人類学 ※						授業運営上の都合により、共同担当分7回を単独担当に変更(29)
兼任	講師	平野 順子	平成29年4月	医療とコミュニケーション ※						
兼任	講師	久保田 美恵子	平成29年4月	医療とコミュニケーション ※						
兼任	講師	田沢 光正	平成29年4月	人間関係論 ※						
兼任	講師	森谷 俊樹	平成29年4月	医療と福祉 ※						
兼任	講師	安田 敏明	平成29年4月	医療と福祉 ※						
兼任	講師	高橋 健	平成29年4月	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※						
兼任	講師	豊澤 博幸	平成29年4月	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※						
兼任	講師	本多 好郎	平成29年4月	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※						
兼任	講師	内城 寛子	平成29年4月	医療とスポーツ ※						
兼任	講師	川乗 賀也	平成29年4月	社会福祉						
					兼任	助教	三浦 康宏	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	教育内容充実のため担当教員を追加(29)
					兼任	助教	岩淵 玲子	平成29年4月	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	教育内容充実のため担当教員を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	3	10	11	31	7	2	5	4	18	7	3	10	11	31
(7)	(2)	(5)	(4)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授：65歳 教授以外：60歳	2 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（A）					後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年8月)	1. 学生への履修指導に当たっては、科目区分「看護専門科目」、「発展科目」、「公衆衛生看護学関連科目群」及び「助産看護学関連科目群」の相互の関連性を踏まえて適切に行うこと。また、学生の主体的な科目履修を促すためにも、学生に対して、これらの科目区分の位置付けを十分に周知すること。	留意事項 入学時のガイダンスにおいて、履修制度はもとより科目構成の考え方や科目区分の位置付けおよび選択科目の履修方法等を学生に十分に説明するとともに、シラバス（教育要項）にも掲載しているカリキュラムマップにより、科目区分相互の関連性を明確に提示した。また、オフィスアワーを広く設定するとともに、クラス担任制度やキャンパスサポーター制度等、学生が教員に質問や相談を行いやすい体制が構築されており、個別履修指導にも対応する。なお、学生へのガイダンスは、2年次以降も同様に実施することとしている。（29）	
	2. 保健師や助産師の資格取得のための履修者選抜時期や結果通知の時期は、在學生と編入学生の公平性を図るため編入学試験の時期に合わせて同時に行うという計画であるが、これらの時期は、在學生と編入学生それぞれの学修の進捗に応じた適切な時期を設定するべきであり、同時期とすることは適切ではないことから、公平性の確保に留意しつつ、再度検討すること。	留意事項 保健師や助産師の資格取得のための選択履修科目が3年次から開講されることに鑑み、在學生は2年次後期定期試験終了時に、編入学生は編入学試験の時期にそれぞれの定員を設定して選考することとする。なお、選考の透明性を確保するため、在學生や編入学生には、選考方法の周知徹底を図ることとする。（29）	
	3. 科目区分「在宅看護学」に、分野の異なる地域看護学に関する授業科目を配置するのは不適切であるため、地域看護学に関する科目区分を新たに設けるか、科目区分「在宅看護学」の名称を地域看護学が含まれる名称に改めること。	留意事項 科目区分を「在宅看護学」から「在宅・地域看護学」に変更し、学則の別表を改正した。 ※学則変更の届出を提出済（29）	
	4. 「基礎看護学実習Ⅱ」に、これまでの教育内容に加え、新たに基本的な看護過程の展開を学ぶ内容を追加したにもかかわらず、授業時間数、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュール及び教員の指導体制が追加前と同様であるため、追加された教育内容に見合った教育が可能であるのか不明確である。そのため、追加した教育内容に対応可能な授業時間数や実習施設の確保、学生の配置計画、実習スケジュール、教員の指導体制となるよう実習計画を適切に改めること。その際は、「基礎看護学実習Ⅰ」と「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数の比率についても、両者の授業内容に見合ったものとなっているか再度見直すこと。	留意事項 「基礎看護学実習Ⅱ」の期間を1週間から2週間に変更するとともに、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュールおよび教員の指導体制の見直しを図ることとした。これにより、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を2単位から1単位へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を1単位から2単位へそれぞれ変更した。 ※学則変更の届出を提出済 なお、実習施設については、本学附属病院での受入れが可能であることを確認しており、教育体制の充実のため、科目開講時までに「基礎看護学実習Ⅱ」を担当する教員を追加する予定である（AC教員審査受審予定）。（29）	

	5. 看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通する内容を教授するものについては、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を行い、学生の負担の軽減に努めること。	留意事項	保健師および助産師の国家試験受験資格に係る科目が開講される3年次までに見直しを行い、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を図ることとする。(29)	
	6. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	科目開講時までAC教員審査を受審し、確実に専任教員を配置することとする。(29)	
	7. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度後の後任者は、適正で厳格な審査による内部昇格や公募、本学附属病院との人事交流等により採用し、教育研究活動の活性化および教育研究水準の維持向上に努めることとする。なお、教授会に設置している人事教授会により、看護学部の将来構想を踏まえた専任教員の中長期的採用計画を策定する。(29)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

◆全学教育推進機構委員会 (別添1 全学教育推進機構規程参照)

本学には、全学的教育施策の企画および学部間の連携・横断教育を推進する全学教育推進機構が設置されており、所掌する事項を審議する機関として全学教育推進機構委員会が組織されている。同委員会では、全学的なFD等の企画・実施、授業評価ならびにシラバスの第三者チェックによる相互評価等、教員の資質の維持向上に関する審議も行っている。

◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会 (別添2 看護学部教務委員会規程参照)

看護学部教授会に看護学部の教務全般を所掌する教務委員会を設置している。同委員会には、授業評価に関する事項、認証評価等の実施および報告書に関する事項、教員FD(WS、シンポジウム等)に関する事項ならびに教育関連会議の情報収集および教員派遣に関する業務を専門的に担当する教育評価・研修部会が置かれている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

◆全学教育推進機構委員会

原則として月1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、平成29年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

- ・第1回 平成29年4月27日(木) 教員13名参加(うち看護学部教員3名)

◆看護学部教務委員会

原則として毎月第2火曜日に開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、平成29年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

- ・第1回 平成29年4月11日(火) 教員6名参加(うち看護学部教員5名)

◆教育評価・研修部会

必要に応じて開催することとしており、平成29年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

- ・第1回 平成29年4月19日(水) 教員6名参加(うち看護学部教員5名)

c 委員会の審議事項等

◆全学教育推進機構委員会

平成28年度は以下の内容(抜粋)を審議し、教員の資質の維持向上に関する検討を行った。なお、平成29年度においても、同様の議題の審議等を予定している。

- ・第5回全学教育推進機構FD講習会実施要項について(平成28年4月28日)
- ・平成28年度全学教育推進機構初級編FD実施要項の一部変更について(平成28年4月28日)
- ・学外有識者による本学の取組に係る点検・評価について(平成28年6月23日)
- ・大学院研究科への授業評価アンケート実施依頼について(平成28年6月23日)
- ・第6回全学教育推進機構FD講習会(録画ビデオ放映)の開催について(平成28年7月11日)
- ・FDの実施状況について(平成28年8月25日)
- ・第7回全学教育推進機構FD講習会の開催について(平成28年9月12日)
- ・第8回全学教育推進機構FD講習会の開催について(平成28年9月12日)
- ・第9回全学教育推進機構FD講習会実施要項について(平成28年9月29日)
- ・医学研究科、歯学研究科授業評価アンケートについて(平成28年10月27日)

- ・平成29年度全学教育推進機構FDワークショップ実施要項について（平成28年10月27日）
 - ・シラバスの第三者チェックについて（平成29年3月2日）
 - ・平成29年度全学教育推進機構FDワークショップの参加者選出について（平成29年3月23日）
- 第1回（平成29年4月27日）（抜粋）

- ・平成28年度全学教育推進機構委員会総括について
- ・平成28年度第1学年授業評価結果について

◆看護学部教務委員会

- 第1回（平成29年4月11日）（抜粋）
- ・教務委員会の役割、構成員および開催日程について
 - ・各専門部会の発足および活動計画について

◆教育評価・研修部会

- 第1回（平成29年4月19日）
- ・構成員および役割について
 - ・活動計画について（授業評価、教員FD、助手年間指導計画、教育関連会議の情報収集および教員派遣等）

② 実施状況

a 実施内容

- | | |
|--------------------|--|
| 平成29年4月3日 | 就任教員を対象とした看護学部オリエンテーション |
| 平成29年7月7、8日（予定） | 新規採用となった助教・助手を対象とした効果的な指導能力を身に付けるためのWS |
| 平成29年8月（予定） | 看護師国家試験の傾向の変化に対応できる教育方法に関するFD |
| 平成29年11月24、25日（予定） | 新規採用となった助教・助手を対象とした効果的な指導能力を身に付けるためのWS |
| 平成29年12月（予定） | 次年度シラバス作成およびカリキュラムプランニングに関するFD |

その他、助手が実習指導に必要な知識や技術を習得し、学生指導に求められる能力を身に付けることを目的とした研修等を以下のとおり実施する（予定含む）。

- | | |
|--------------|---|
| 平成29年4月1日 | キャンパス施設内見学（講義や演習で使用する教室等に関する説明） |
| 平成29年4月28日 | 大学、学部の教育理念・方針・目標・授業内容等のオリエンテーション（学生理解、実習施設との連携の仕方、求められる実習指導能力、感染防御を含むリスクマネジメント、人権・倫理、個人情報保護法等の関係法規） |
| 平成29年5月（予定） | 実習施設の概要説明、臨地実習における助手の役割の理解、実習指導の方法についての共有化、研究活動に関する説明 |
| 平成29年6月（予定） | 主たる実習施設の見学および実習施設における研修計画の説明 |
| 平成29年7月（予定） | 看護過程の展開、主要な看護技術の振り返り、医療機器の取り扱いの等の確認 |
| 平成29年8月（予定） | 領域別実習指導計画の検討への参画 |
| 平成29年9月（予定） | 実習での助手の役割についての再確認 |
| 平成29年12月（予定） | 次年度の実習計画や運営への参画 |
| 平成30年1月（予定） | 次年度の実習要項、シラバス等の検討会議への参画 |
| 平成30年3月（予定） | 次年度への準備の再確認や変更事項等の共有化 |

b 実施方法

研修会、講演会、ワークショップ、ケーススタディ形式による実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年4月3日開催の看護学部オリエンテーションは、研修会形式で実施し、平成29年度就任の看護学部全教員（20名）が参加した。今後看護学部で予定しているFDについても、全教員に参加を義務付けている。なお、学部開設前（平成28年11月23日）には、既設の医学部・歯学部・薬学部との連携教育、本学における初年次教育の取組み、シラバス作成をテーマとした研修会を開催し、就任予定教員（33名）が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

恒常的な教育内容および教育方法の見直し・改善に役立てるよう取組むこととしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善と外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立を目的として、学生による授業評価アンケートの他、教員による講義・実習の自己評価アンケートを行っている。アンケートの実施時期は、原則として各科目の最終授業日としている。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

年度毎に授業評価報告書を取りまとめ、教員や学生へのフィードバック等を目的として、学内向けホームページへの掲載を予定している。なお、評価の高い教員については、顕彰を行うこととしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、建学の精神に基づく全学的な教育研究活動等の状況を自ら点検および評価する機関として「岩手医科大学自己評価委員会」が設置されており、学長のリーダーシップの下で、積極的な教育研究改革が行われている。看護学部においても、教授会の下に「看護学部自己評価委員会」を設置し、教育研究活動等に関する自己点検・評価の他、設置の趣旨や目的の達成状況に関する評価と改善方法を議論することとしている。なお、これらの結果については、教育研究の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するため、また、項目毎にPDCAサイクルのどの位置にいるかを認識し、次年度以降どのように改善したかを明確化するため、他学部等と同様に毎年の自己点検評価報告書に取りまとめ、その内容については、「岩手医科大学自己評価委員会」で評価を受けることとしている。

この他、全学部共通のシラバス必要記載事項を定めた作成要領を規程化し、これを基に各学部において作成したシラバス原稿を全学教育推進機構が第三者チェックする制度が整備されている。全学教育推進機構委員会において総合評価を実施し、その結果を教学最高決定機関である教学運営会議において報告するなど、シラバス内容の適切性について評価システムを構築している。なお、平成29年度看護学部第1学年のシラバスについては、「適正である」との評価を受けている。

更には、専属の職員を配置し、IR (Institutional Research) による入試成績情報、在学中の成績情報、学生基本情報等を集約し分析を行うことにより、各学年末進級試験成績と卒業認定試験成績との相関、各科目成績と卒業認定試験成績との相関、入学試験成績と入学後試験成績との相関および進級・留年・卒業・退学・休学・国家試験合格率の推移等を示し、教学運営会議において報告した上で各学部にてフィードバックを行っている。

平成27年度からは、全学生を対象とした学修支援アンケートを実施し、学部・学年別の学修時間・学修成果・学生生活について分析するとともに、個々の学生の学修成果についても分析し、各学部にてフィードバックした上で個々の学生に対しての指導に活用している。また、次年度以降の経年変化についても分析する予定である。

なお、開設年度である平成29年度は、入学定員90名に対し95名が入学し(定員超過率1.05倍)、適正な定員管理が行われている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年8月31日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開する予定

③ 認証評価を受ける計画

平成25年度には、学校教育法に基づく認証評価を第三者評価機関である公益財団法人大学基準協会において受審し、教育研究水準ならびにその組織、施設設備、社会への貢献および管理運営等について「大学基準に適合している。」と認定された。認定の期間は平成33年3月31日までであり、平成32年度に次回の認証評価(公益財団法人大学基準協会)を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(29 年 6 月 30 日)